

1. COC＋参画機関の取り組み 及び実績報告

事業全体の取組概要

本事業は平成27年度文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」奈良女子大学、奈良工業高等専門学校による協働の取り組み『共創郷育:「やまと」再構築プロジェクト』が採択され、大学等高等教育機関と地方公共団体、企業とが連携し、地域を試行した教育並びに社会貢献を推進し、地方創生に寄与する人材の育成を進めることを目的としています。

奈良県におけるCOC+実施校は奈良女子大学、奈良高等専門学校及び奈良県立大学で平成27年12月1日に発足した組織「やまと共創郷育センター」を中心に次のような取り組みを行ってきました。

1. 若年層の地元定着に向けた取組

奈良県を知り、奈良県を好きになる教育プログラムの提供を通じて奈良県で働く、奈良県で暮らすことを志向する学生の数を増やしていきます。また、県内でも特に人口流出、高齢化の進行が顕著な下市町、十津川村、野迫川村にはサテライト施設を開設し、地元の方との協働のもと、学生ならではの視点から地域活性化、地域振興に向けた取り組みを推進します。職業選択という人生の一大事に対しては先輩や同級生の持つ体験や知識も非常に重要であり、既存のキャリア・サポートに加え、就職について学生同士で相談し合える相互扶助システム(ピア・キャリア・サポート)の構築を進めてきました。

2. 雇用創出に向けた取組

奈良県の課題として、若年層が働きやすい職場、働きたいと思える職場が少ない、ということが挙げられます。行政と企業との協働のもと、県内企業情報の学生への提供、業界研究会等の出会いの場の提供、インターンシップの実施等を通じて学生と行政・企業との交流を深め、就職という形でのマッチングを推進します。さらに雇用が少ない、という課題に対しては、行政・企業との協働のもと、企業誘致や新産業創出を通じた雇用の創出を推進してきました。

3. 役割分担

- (1) 参加校:各校の特色を活かし、相互に補完し合いながらCOC+事業全体を推進してきました。
- (2) 参加自治体:地域ニーズの提供を通じて、学生の学びの場を提供してくれました
- (3) 参加企業:業界研究会・就職説明会への参加、インターンシップの機会の提供を行ってきました。

4. 構築される教育プログラムの特徴

奈良を知り、奈良を好きになるきっかけとなる「地方創生理解科目」、参加自治体に赴いての合宿も取り入れながら地域の課題解決に実践的に取り組む「プロジェクト科目」(PBL型教育)を整備してきました。従前より推進してきた奈良で学ぶことをより広く、より深く学生に提供し、奈良に対する志向性を高めてきました。